



# 3.27三里塚現地集会 敷地内横堀共同墓地に3750名結集!

## 3・27集会報告

### 司会

事務局員

小泉英政  
前田勝雄

### 開会宣言

婦人行動隊長

長谷川たけ



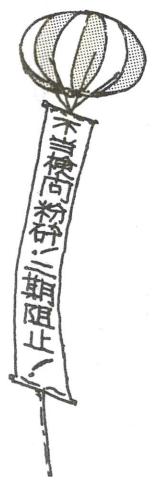
あいにくの雨ですが、大勢集まってもらってありがとうございます。

2・28実役で混乱が起きました。話の行き違いがあって2ヶ所に分かれて集会をやらなければならなくなりました。

しかし、廃港へ全力をつくす決意は依然変わりありません。

中核は第一公園へと言っていたが、ここにこんなに大勢集まってもらいました。

今日は再出発をする日です。雨が降って地が固まるの言葉通り、17年前に戻り、原点に還って運動を進め、一坪完成、二期阻止に向かって集会を大成功させていきましょう。





# 主催者あいさつ

反対同盟代表

熱田 一



これからこの大地に青行の申すように、我々といましては、自主耕作を完行いたし、更に拡大いたし、自主基盤整備を更にすすめ、そうした中でこの大地に実りの大地を獲得したい、というふうを考えておるところであります。

私といましては、2つの集会は望んだものではございません。勝利の日まで斗いつらぬということが基本ではございますけれども、一坪共有化問題をめぐって、今さらこういうことをやる必要はないであろうというところ、我々は今こそ反動政府よっての狙い所であるから、ここでさらに力をつけ、輪を広げていかなければならないという立場であって、そこに見解の相違があるのであります。

私もが、この現地、二期工区、創意工夫をもって粉碎する、いうことにおいては、一坪共有地が必要であり、また全国の皆様方の熱烈なるお力添えが望ましいものである、いうふうに考えておるところであります。これが、全国全人民、真の願いであり、私の要求するところであります。

よろしく御協力のほどをお願いいたします。

## 基調報告

事務局長代行

菅沢昌平



私達は1966年7月10日、三里塚芝山連合空港反対同盟を結成し、以来17年間、空港廃港、農地奪還を旗印として、幾たびもの激戦を耐えぬき、斗い続けてきました。ある時は土にもぐり、土となり、立木に我が身をしばりつけて杭となり、歯をくいしばって斗い続けてきました。共に怒り、共に笑い、仲間

同志を見切らず、支え合い、お互い手をとって斗い、生きてきました。横暴な権力への怒りと、底抜けに明るい笑いが私達のいのちでありました。

17年間、日帝国家権力との実力対決を貫いてきた三里塚の斗いは、巨万の、平和を願い、反戦反核を求める人民決起の最前線の斗いであり、日本人民の反権力・反核の砦であると自負するものであります。

我々反対同盟は、本日、この現地大集会を踏み台として、二期阻止、空港廃港への大水路を切りひらき、歴史的な大勝利をかちとるものであります。

同盟員が打って一丸となり、空港粉碎の大道を全国の人達とともに、まい進しようとする大事な途上にあるときに、心ない一支援中核派の断じて許すことのできない行動が横行したということは、本当にごんきに堪えないことでもあります。

私達はこの期にあたり、すべての支援、とりわけ党派に結集する諸兄弟に強く訴えます。党を母体とする者たちが、村を母体とする者たちの斗いを支援する場合において、まずは村と村人に対して礼節をわきまえるということが、信頼関係の基礎をなすということを片時も忘れてほしくないことでもあります。

二期用地内を幾万、幾十万の人の輪で守るには、まず幾万、幾十万の人々の共感をさそう三里塚でなければならぬと思うわけがあります。この最大の危機を最大の好機に転ずるために、今こそ反対同盟と三里塚を闘う全国の闘う人々が手をがっちり結びあうことが求められていると思います。

私達は、新体制のもとで当面の方針を以下の4点に要約してみました。

まず一点、事業認定の失効を満天下に明らかにする全国的な大宣伝運動をくりひろげ、収用権限不存在確認訴訟をおこす。

二点目、一坪再共有化運動をまきおこし、公団の任意買収攻撃から共有地を防衛し、二期用地全体を我らの手にとりもどす出撃拠点をつくり出し、共有化を通じて全国の三里塚勢力の人々との連帯を深め、共有資金をもとにして、勝利に向けた闘いと生活、組織と運動をつくりあげる。

第三点、自主耕作、自主基盤整備事業を拡大、発展させ、農地を奪い返し、公団用地貸付けなど敵の懐柔策を打ち砕き、政府の農業発展攻撃をはね返し、政府や資本にからめとられない農業と生活をつくり出す。そして、その具体的な方法として、だいたいですが、5月から8月、9月にかけて全国各地へ同盟員が出向き、ブロック別の三里塚集会を開き、その成果と総括をたずさえて、本年9月15日現地集会にもちこみ、いっそう確固不動の反対同盟の構築に向かうわけがあります。向かおうと思っております。

以上4点の方針は、共に連動しあいながら、敵の二期着工攻撃をこちらから迎え撃つものであり、用地内において一坪の土

地も売らずに堂々と営農を続ける敷地内農民と固く連帯し、収用どう喝をはね返し、話し合い攻撃などもとせず、まさに空港予定地を緑の沃野につくりかえる大地の解放斗争にうって出るわけでありませう。

我々反対同盟は、本日の集会を歴史的重要な第一歩とうけとめ、来たる9月15日現地集会において、本日のこの大衆を上回る巨万の隊列をもって大成功裡にかちとりたいと思うわけでありませう。

以上、基調の報告にかえたいと思います。



## 住民団体、共闘団体アピール

泉州沖に空港を作らせない住民連絡会

日本原農民よりのアピール (司会代読)

内藤 秀之 奥 鉄男

内藤 早苗

内藤 勝野

柏崎原発反対同盟のアピール (司会代読)

星野 俊彦

全国障害者解放運動連絡会議

代表 中川 一二三

## 市民団体、労働団体アピール

婦人民主クラブ 書記長 近藤 悠子

廃港要求宣言の会、三里塚闘争に連帯する会

代表 前田 俊彦

労働情報

全金港合同田中機械支部

全国一般南部支部

全水道東京水道労働組合

東芝アンペックス労働組合

タカラブネ労働組合

群馬市民の会

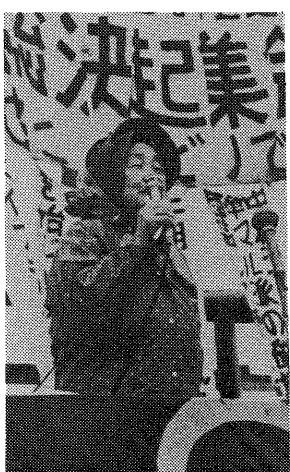
エンタープライズ佐世保入港を阻止しよう!

全九州アピール

PARC行動委員会

## カンパ要請

副婦人行動隊長 小川 むつ



どうも皆さん、雨天にもかかわらず、このように大勢お集まり下さいまして、本当にありがとうございます。この壇上に上がりましたら、ますます人の波でいっぱいです。本当に私達は、感謝いたします。

まずはじめに、今日の成田駅の状況をお知らせいたします。向こう側は、反対同盟の名をもって、第一公園へ、第一公園へという誘惑の暴言をはいておりました。私達はそれに負けず、成田の駅で、横掘墓地へ、横掘墓地へとやっております。

しかし、向こうのことばは、脱落、逃亡した一部同盟員の集会は、反対同盟員の集会ではないということです。私達は本当に憤慨いたしておりましたけども、我慢をして3時間闘い抜きました。

ある人が私に「むつさん、敷地内を見殺しにしてもいいのか」とやってきました。敷地内を見殺しにするのはどっちでしょうか、私達は敷地内と共に闘い抜きたいのです。

先程、集会参加人員の報告ありましたけども、皆さんは本当に三里塚反対同盟の、この強固な意志をはっきり意識されて、誘惑にも負けず、ここにお集まり下さいまして、本当にありがとうございます。

三里塚斗争というのは、あくまで農地死守の闘いです。この再共有化運動こそ、本当の農地死守です。全国の皆さんと共に、この一坪再共有化して、勝利の日まで闘うのが、三里塚反対同

盟の斗いです。  
皆さん、これからの斗争にそなえ、あたたかき支援のカンパをお願いいたします。

## 管制塔被告団からのアピール

### 反対同盟決意表明

敷地内木の根部落 小川直克



どうも、雨の中、今日はおくろうさままでございます。木の根反対同盟を代表しまして、一言御挨拶をいたします。

私達、木の根部落は、皆さんもご承知の通り、横風滑走路の中に位置しておるわけでございます。政府、公団はまだあきらめずに、いろんな懐柔策をもって攻撃をかけてきています。

毎朝の権力の不当な検問、またいやがらせ等々、数限りない行動をしております。が、しかし、私達は屈しめせず、敢然とこれを拒み、斗い続けております。皆さんも御承知のように、この間のいろんな問題がありました。木の根部落は何回も部落集会を重ね、中核派の共斗を断ち切りました。

今、一番大切なことは、農民が本当に主体になり、農民どうしが本当に信じ、助け合いながら、やっていくことができれば、この斗争の勝利というのは、見えてくるわけでございます。管制塔戦士も一日も早く奪還し、共に二期阻止、空港廃港へとがんばる決意でございます。

どうか皆さん、共にがんばりましょう。

敷地内東峰部落 小泉美代



71年の9月に、よねばあちゃんが、抜き打ち的にだましようちで家をこわされ、そして、引きずり出されて、路上に投げ出さ

れ、その時に、東峰部落の島村さんが快く、畑の一部を貸してくれて、そこへ反対同盟がプレハブを建ててくれました。

そして、その2年後に私達が夫婦で、病気になったよねばあちゃんの少しでも力になりたいという気持ちをもって、ばあちゃんの養子になり、東峰部落の仲間に入りました。

そして、それから7年、8年位たちましたけど、その間に東峰部落は7軒の農家が、それぞれの非常に苦しい思いを持ちながら、東峰部落を去っていきました。

そういう中に私達は、また新しい仲間を作ろうということを考えました。そして、東峰部落の用地の中の畑に新しくニワトリ小屋を建て、そのニワトリを飼う人の住む家を建て、また新しい息吹きが東峰の中によみがえってきました。これからも、どんどんそういう所を増やして行って、新しい、また昔のようににぎやかな東峰部落をつくって、祭りがあり、ともに手をとって闘っていけるような東峰部落をつくっていききたいと思えます。

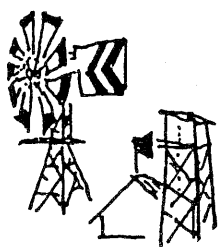
ここに、東峰部落が手を取りあって、東峰も、天神峰も、木の根も、そして用地外のすべての反対同盟の人たちと、また一緒にやっていける日が必ず来ることを信じて、これからもがんばっていききたいと思えます。

敷地内東峰部落新住人 鯉淵俊秋



どうも始めまして、鯉淵でございます。あんまり人の前でしゃべるなんていうのは得意じゃないんで、何を言ったらいいのかわからないんだけど、今、美代ちゃんの紹介にもありましたように、用地内の一坪の土地で、座して向こうの攻撃にさらされるよりも、こっから打って出ると、そういう斗いとして、身体をはって頑張るといふつもりでございますので、皆さんも一緒に一坪の運動を拡げて、敵権力に向かっていく大きな運動を作っていたきたいと思います。

今後とも頑張りますのでよろしくお願ひします。





この集会場は、二期工事横風用滑走路のご真ん中に位置するわけでありすけれども、反対同盟が、これから闘う姿勢を示すその前段として、この集会をここでもてたということに非常に、私達青年行動隊は、反対同盟の今後の闘いを左右する上で非常に意義あるものというふうに評価し、何としてもあくまで成功させていきたいというふうに思います。

3月8日の同盟総会において、反対同盟は3つの方針を決めました。運動方針をもって再び三里塚の闘いを全国的に発展させると同時に、もっともっと三里塚の地に根をはやす、そういう運動を、今からもう一度やっばりつくり出していく。そういう姿勢を確認したのが、あの3月8日の総会であつただろうと思います。青年行動隊は、その3月8日の反対同盟総会の決定を心の底から評価すると共に、こうした反対同盟の、二期阻止に対して攻撃的にこちらから闘いを挑んでいく、そういう姿勢を本当に評価しながら、同時に、そういう姿勢でもって今後闘い抜こうとする反対同盟の、その先頭になって、これらの運動を進めながら、三里塚の二期阻止廃港に向けた闘いを全力をもって推し進めていくことをみなさんと共に確認し、私達の決意の表明にがえていきたいと思ひます。ありがとうございました。

自主耕作委員会

柳川 秀夫



昨年、皆さんの協力のもとに、この横堀の地で2町歩の公団の畑を耕しました。そして、非常に質のいい落花生を収穫することができました。これはやはり、この三里塚の大地は、そもそも、今はこんなに荒れ果てておりますが、やはり農地であつて、本来の地より、本来のものを生産するということが、全くその大地の姿だと思ひます。そういう意味で、今年もさらに昨年に増した広大な自主耕作運動を展開していきたいと思ひます。私達は17年間斗ってきましたが、一ヶ所にとどまらず、闘い

が向こうからやってくるのを待っていたことは一度もありません。皆さんと共に力のある者は力を出し、物のある者は物を出す。知恵のある者は知恵を出すと。そういった創意的な闘いを常に闘ってきました。これからの闘いもまさに、その延長線上にあるわけです。しかるに、なぜこの闘いに躊躇することがありましようか。

今後、そういったみんなの知恵と力をついに、心をついに共に闘っていきましょう。

大地共有委員会

石井 恒司



今、三里塚の斗争は、新たな闘いをやはり、創出、創造していかねければならないと思ひます。

この間、共有運動が、三里塚の斗争を2つに割っていくなどというようなことを非常に言われておりますが、これは全く共有運動がどうのこうのということでは、全くありません。我々は今、空港公団の買収の前に、一坪共有地がさらけ出されているわけですが、この三里塚の二期工事をめぐる闘いというのは、いかにして、やはり、二期を空港公団の手から守っていくのかというふうなところを考えた時、一坪共有運動を最優先にして、やはり、頑張っていかなければならないという、そういう状況下にあると思ひます。

今ここで、非常に中核派諸君らの誹謗、中傷がありますが、だからといって、空港公団の買収攻撃を許していくことはできないと思ひます。我々はいかなる誹謗、中傷、反対のための反対、そのようなことはねのけたところで、三里塚の空港、二期工事を具体的に先頭になって阻止していく、そういう運動を作らなければ、やはり敵にも負けるし、やはり中核派のそういう運動破壊にも屈するということではありません。

で、最後に、この共有運動を通して、新たな三里塚の闘いを豊かに創造していく、そういう運動を更に更に広げていくというふうに考えています。

## 部落解放同盟千葉県連の

### メッセーじ

代読 事務局員

寺内 金一



# 反対同盟新役員体制報告



(写真の順番と下の名前は一致していません。)

代表	熱田 一
代表補佐	小川 源
行動隊長	石井 武
副行動隊長	笹川 英祐
婦人行動隊長	柳川 秀夫
副婦人行動隊長	熱田 一
救援部長	小川 清之
副救援部長	関口 和明
会計補佐	長谷川 たいけい
事務局長代行	小川 むつ
事務局員	秋葉 哲
	堀越 昭平
	岩沢 吉井
	龍崎 春雄
	菅沢 昌平
	前田 勝雄
	石井 新二
	柳川 秀夫
	小泉 英政
	寺内 金一
	相川 勝重
本部役員	小川 直克
	相原 亮司
	石毛 博道
	斎藤 常次

代表補佐

石井 武



私達反対同盟は、17年間権力のいやがるものを見つけて、そして闘いを組んでまいりました。今度の再共有化運動などでもですね、権力はこれをやられたら大変なことになると言っておるわけです。

にもかかわらず、中核派なるものは、これは土地ころがしだとか金もうけだとか言っておる妨害しておる事実があります。そうするとはっきりしてはいいけない、権力がやられては困ると言うことを彼らはやってはいけな、粉碎しろと言っているわけであって、まさに、我々を日和見主義者とか脱落者だとか言っているけれども彼らがやっている行動はですね、公団の全く手先になっているということがはっきりしているわけです。

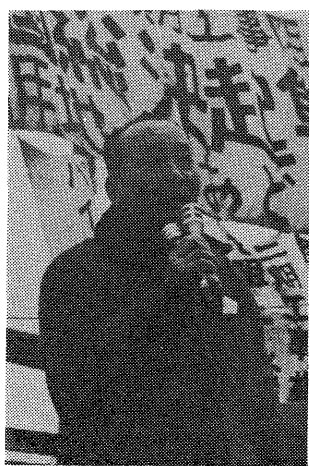
我々は今後どんな弾圧があろうともですね、権力がいやがることは徹底的にやっていくつもりであります。

今まで多くの代執行などがありました。これみんな共有地で我々斗ってきたわけです。やはり、今度のこの再共有化運動に對しては多くの皆さんに負担をかけますけれども、どうかこの運動にこぞって参加をしていただき、そしてここに闘う拠点を作り上げていただきたい。

そして我々と皆さんとが一丸になって闘っていくんだ。我々は座して敵の攻撃を待っていることはできません。全国の皆さんにもっともこの運動をつくり上げていただきたい。本当に今日はありがとうございました。

救援部長

秋葉 哲



おくれればながら万年救援部長の秋葉でございます。

ただいま石井武さんの方からる報告されましたので、私から申し上げることはございません。だが、私も万年と申しましたけれども、この空港を廃港に追い込むまで闘いますので、どうぞ皆さん絶大な御支援のほどをお願いいたします。

今日はありがとうございました。



この悪天候の中、権力も予想だにしない大衆がこの横堀の集会場に参加されまして、私72才ではございますけれども、またもとの青年行動隊に立ち返って、これから皆さんの御期待に応えるように老骨にムチ打って第一線に復帰し、会計の職を行おうと思ひます。

私、17年をふり返つてみる時に、私が69年ですか、初めて柳川茂君から会計を渡されました。その時には、柳川茂君が、じいさんなんとか助けてほしい、会計は今ゼロなんだと、第一回の私の会計はゼロから出発しました。

私どもは反対同盟の本流です。この本流の会計を私がまた見事その職につくことになりました。しかしながら、何が因果か知らないけれども、また会計はゼロからの出発でございます。

どうぞ皆さん、この反対同盟の会計、また数百万の会計になるように皆さんの御支援をお願い申し上げます。

私どもはいかなることがあろうとも廃港を、私どもの最大の目標でございます。この二期を、この横堀の地から、木の根の地から、東峰の地から私どもの手に奪還するその闘いが私どもこのこれからの闘いです。廃港勝利、それまで断固頑張りましよう。

### 集会宣言

副行動隊長

小川 清 之



結集された全ての同志の皆さん、この雨の中大変御苦労様です。先程、長谷川さんからの話がありましたように、我々は今ここから再出発するんだということを皆さん確認してください。そして雨降って地固まる、これがスタートであります。どうかそういう意味合いをもって集会宣言をお聞き下さいませようお願いします。

### 集会宣言

三里塚闘争数えて十七年、我々反対同盟は、の間、結成以来最大の組織的危機にみまわれた。しかし、我々は三八同盟総会をもって、三里塚闘争の主体は、反対同盟農民である、ことを重ねて証明し、空港廃港を実力で勝ちとる決意にいつさかの動揺もなことを鮮明にした。北原事務局長の解任と中核との共闘を断つと決断は、反対闘争の正常化を心の底から希求する同盟員の満場一致の大拍手によって下された。

千代田市民館を埋めつくした一六〇名の同盟員の目には輝いて、新役員体制と二期着工を、さらさら迎へようつ三大方針とを、歓声をあげて確認した。

反対同盟農民が、三里塚闘争史上、最も果敢に闘った強制代執行阻止闘争、そのための頃の反対同盟のようだと我々は互いに鼓舞を合した。あの頃は来る日もくる日も、腰にやんまをぶら下げて闘った腹へった人あれば、一つやんまを分け合ったあの時の、でかいやんまのような反対同盟。

三八同盟総会を頂点とする同盟改革を成し遂げて、我々三里塚山連合空港反対同盟は、晴れやかに健全である。我々は生き生きとした本来の姿を基礎に、創造性を豊かに、戦闘性を強固にして、空港を廃港にするための戦略と戦術を、統々と堂々と産み出すたろう。

我々は、この集会を出发点に、一坪再共有化を具体的に推進し、目に見える再共有化運動を構築する。

空港の団の買収攻撃にさらされる一方だった一坪用地に、人民の息を吹きこみ、鼓動をおこし、二期用地に新しい拠点を創出する。

更に自主耕作運動を拡大し、空港予定地を定りの大地に作りかえ、人民の既成事実をおこす。

共有運動や自主耕作運動は、農地死守、農地奪還の策か闘争である。

我々は、成田用水などの懐柔策をはわかし、自主基盤整備、備事業を積み重ね、農業のあり方を根本から把りこみ、戦う農業、人民と結ぶ農業、政府や資本にからめとられ、自立した農業を探りだし、全国の農民たちとの交流を、活発化させる。

三里塚の大地の解放が、ただ三里塚農民のためだけでなく、広く人民の解放に役立つよう、新しい労働連帯の内定を獲得する。我々は、現地において奮闘し、同時に全国各地において、反対同盟主催による、事業認定粉砕、一坪再共有化運動推進の各地已集会を開催する。五月首都圏集會を、これに、連想的に全国をめぐり、その成果を、秋の現地闘争に、結集する。

我々は、二期着工を、さらさら迎へようつと通して、中曾根政権と対決し、政府に空港計画を断念させ、三里塚を中曾根打倒の戦場とする。いかに困難な時でも、三里塚闘争を率いてきた、私たちの前むきの精神、常に新しい発想、そのつどの困難を乗り越えてきたエネルギー、入力が、三里塚の未来を切り開き、時の分裂を解決して、いこう。我々は、自らの力を信しよう。我々は、本日、横風用滑走路の真中、集會をもち、二期用地内をデモする。用地内に棲息する生物たちも我々に喝采を送るだろう。団結のスクラム固く、連帯のツツッレヒコル高らかに、竹槍街道を行進しよう。救地内外、がっすり手を結び、反対同盟先頭に、二期用地内に躍り出ん。

一九八三年 三月二七日 三里塚山連合空港反対同盟

代表 熱田 一

# スローガン

代表補佐

笹川英祐

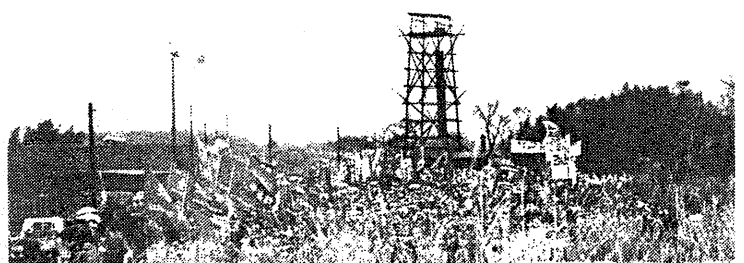


- ・事業認定粉碎、一坪再共有化を実現し、空港予定地を解放しよう！
- ・二期工事、横風用滑走路着工を実力で阻止し、空港を廃港に追いこむぞ！

- ・横堀墓地奪還、勝利！
- ・話し合い攻撃をはねのけ、実力斗争で斗い抜くぞ！
- ・自主耕作、自主基盤整備を拡大し、成田用水を始めとする懐柔策動を粉碎するぞ！

- ・パイプライン9月段階開始を許さないぞ！
- ・空港計画を断念させ、核空母中曽根を撃沈しよう！
- ・労戦の右傾化と対決し、三里塚と結ぶ労働運動をつくらう！
- ・世界の斗う仲間と連帯し、三里塚を反戦・反核の砦としよう！
- ・中核派らの敵対、分裂策動をはねのけ、革マル派の破壊、介入を阻止し、団結して斗い抜こう！

- ・あらゆる差別、抑圧と闘い、人民の解放をなすとげよう！
- ・三里塚斗争被告への重罪判決弾劾！全裁判斗争に勝利するぞ！
- ・刑法改悪を阻止し、戦争に向かうあらゆる治安弾圧を許さないぞ！



# 行動提起

副行動隊長

小川清之

# 団結ガンバロー

代表補佐

小川源



本日は3700という多くの方々が集まれ、大成功に終わりました。これから団結ガンバローを三唱するので、満身の力をこめて、ガンバローをひとつお願ひします。

団結ガンバローノガンバローノガンバローノ



以上、いくつかの発言については、発言者の了解を得て抜粋としました。

# 5月連休、三里塚へ 援農に行こう！



日程 5月2~3日  
(それぞれ1日でも参加できます)